

9 月号

ひだまり

わかくさこども園



2022.8.31



砂場を囲む杭の上に、シャベルで小さな砂山を作ったこむぎのSくん。

その反対側から、Rくんのオレンジ色のショベルカーが近づいてきた。右に左に首を動かし、Sくんが作った砂山を壊しながら進んでいく。

ショベルカーの動きを真似しようとするRくんの目は、真剣そのもの。

隣でそれをじっと見ていたSくんの顔が、パッと明るくなった。ショベルカーが自分の作った砂山を壊すところをもっと見たいのか、ショベルカーの行く道に先回りし、一個、もう一個と、砂を積んでいく。

思いがけず重なった二人の遊び。

つくるひと、こわすひと、どちらも自分の遊びの世界をめいっぱい楽しんでいました。

つくるひと こわすひと (2022.8.22)



9月の予定

【幼稚園】

1日（木）午前保育

1日（木）始業の日

7日（水）夕涼み会（幼児・保育中）

8日（木）避難訓練

14日（水）歯科指導

30日（金）引き渡し訓練

なんでもない日の、子どもたちのこと

わかくさの今とこれから。子どもたちのことを思いつくまに。

園長 習田 和正



2学期が始まります

だんだんと夏の寝苦しさが薄れ、季節も秋に向かってきているようです。ひんやりとした涼を求めてか、何度動かしても頑なに固い床の上で寝ていた3歳の長女も、ようやくふかふかの布団の上で寝てくれるようになりました。

さて、こども園はというと、いよいよ29日から夏季保育が始まり、ようやく本来の賑やかさを取り戻しつつあります。幼稚園の子どもたちは園に来ることを待ち侘びてくれていたのか、午前保育の短い時間の中でも思い切りこども園を満喫してくれているようです。（夏休みの思い出もたくさん聞かせてくれました）

今、にわかにな人気になっているのが園庭あそび。緑の築山の草がボーボーになって虫がたくさん遊びにきてくれるようになったり、新しい遊具が増えたりと、園にいなかったこの1ヶ月の間で変わったことも多いからでしょうか。久しぶりに園庭で元気いっぱい虫を追いかける姿を見ていると、こちらも嬉しくなります。

今ある環境の中でどう楽しんでいくかはアイデアと工夫次第。変わっていく園庭も、子どもたちの柔軟な発想で味付けされ、どんどん新しい遊びが生まれる場となっていくことでしょう。



いまだコロナの状況もなかなか落ち着かず、苦労されているご家庭もあるかと思いますが、心穏やかにいられないこともある中ですが、園でも引き続き、子どもたちの安全を守れるよう感染対策を行いつつも、今しかない子どもたちの遊びを保障していけるよう、考えていきたいと思っています。

2学期も引き続きとなりますが、どうぞよろしく願います。



登園初日、早速園庭で捕まえたカブトムシ



一人で遊んでいるように見えて

前述した子どもの「遊びの環境」について、少し深掘りしてみたいと思います。子どもの遊びをつくったり、広げたりする『環境』には種類があり、園庭（自然物や遊具など）やおもちゃ、絵本や教具といったものは、“物的環境”に分類されます。一方、子どもたちと関わる私たち保育者は“人的環境”と言われ、日常的に一緒に過ごす友だちも、これにあたります。

この「友だち」という存在が、『環境』として作用していくのにも段階があります。一般的には、自分の中の世界だけで遊ぶ「一人遊び」から始まり、友だちと一緒にいながらも別々に遊ぶ「平行遊び」、そして成長に伴い、だんだんと友だちとやりとりをする遊びを楽しめるようになっていきます。

個人差はありますが、「一人遊び」や「平行遊び」をしながら、友だちへの意識が芽生えてくるのが2～3歳ごろ。その過渡期には、それぞれで遊んでいても、偶然のやりとりが生まれることがあります。

例えば、冒頭ページのこむぎの二人のやりとり。砂山作りに夢中だったSくんは、Rくんの登場によって、自分が作った砂山が壊れていくさま（もしくはショベルカーの動きや存在）に興味を広げた。そして、ショベルカーを動かすことだけに夢中だったRくんは、砂山の出現によって、ショベルカーで砂山の砂を落とすとい

う、新しい表現を発見したということが読み取れます。

もちろん、タイミングが悪く、おもちゃの取り合いになってしまうパターンも多々ありますが、やりとりが生まれることによって、そばで見ている保育者も想像できなかった形に遊びが変わったり、広がったりすることもあります。それがこの過渡期のやりとりならではの面白さであり、集団で過ごす面白さであるように思います。

そして保育者は、こうした姿を踏まえ、次の遊びを考えていきます。そのサイクルの中で子どもたちの今の育ちを見つけることが、保育者としてのやりがいだったりもします。

これからの季節は、春、夏に積み重ねてきた経験が土台となり、それぞれの年齢でぐんと成長していく時期です。

2学期も楽しいことをいっぱい経験して、実りある毎日になりますように。



友だちの付けた色の上に自分の色を重ねてみる



お知らせ



🔍 連載コラム

こども園たんけんたい



第5回「エントランスギャラリー」

毎日、子どもたちと保護者のみなさんが出入りする玄関の土間スペースに、実は「エントランスギャラリー」という名前があるのは、あまり知られていないかもしれません。

「ギャラリー」という名の通り、展示スペースとしての活用も想定して作られた空間でもあります。こども園として、園のお便りや地域の子育て情報の発信もする場ですが、子どもたちの様子を掲示したり、子どもたちが描いた絵や作った作品などを飾っていくのもいいなと思っています。保護者の皆さんに見てもらおうのもそうですが、子どもたち自身が、自分や友だちの様子、作ったものを客観的に見る経験は、新しい活動や創造につながる大事なきっかけにもなるからです。

ちょっと立ち寄ったり、立ち止まったりして、子どもたちの世界に思いを寄せられる、そんな場所でもありたいです。

保健だより

まだまだ残暑が続きますが、幾分過ごしやすい日が増えてきました。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないように気を付けましょう。

○防災を考えましょう

9月1日は防災の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認してみましょう。

- ・危険なものを子どもの手の届く場所に置かない
(薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁等の刃物、針、誤飲のおそれがあるもの)
※トイレットペーパーの芯を通る大きさの物は、子どもの誤飲リスクがあるとされています。
- ・踏み台になるものはベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・浴室には子ども一人で勝手に入らないよう工夫する
- ・地震で倒れないよう、棚の上の物は下ろし、倒れそうな物は固定するなどの工夫をする

○救急用品の準備はありますか？

9月9日は救急の日です。この機会に、ご家庭の救急用品をチェックしてみましょう。薬の使用期限は1年に1度は確認しましょう。

～準備があると安心なもの～

- | | | |
|-----------|-------|------|
| ・体温計 | ・はさみ | ・絆創膏 |
| ・ピンセット | ・ガーゼ | ・毛抜き |
| ・包帯 | ・冷えピタ | ・テープ |
| ・虫刺され用塗り薬 | ・綿棒 | |



看護師・藤井 佑季



9月 保健の予定

- | | |
|---------|---------------|
| 14日 (水) | 歯科指導 (3、4、5歳) |
| 20日 (火) | ふじ・みそら 身体測定 |
| 21日 (水) | ももはな 身体測定 |
| 22日 (木) | こむぎ・ゆずは 身体測定 |

わかかさこども園

wakakusa kodomoen